



# 日本共産党市議団

小野寺幸恵・原 啓司・富岡 隆

## ●戦車等の公道自走訓練



小野寺幸恵 議員

9月1日の深夜に、自衛隊の装甲車など43両が公道を走行した問題で、自衛隊員が車両の上にとったり顔を出すなどをしていることから、「有事を想定した訓練ではなく、パフォーマンスに過ぎない。まさに慣熟訓練ではないか」と指摘し、走行中止を求めました。

また、8月24日から始まった米軍戦闘機訓練移転において、米軍はPCR検査を実施した上で参加している一方、自衛隊員は未実施のため、地域住民と自衛隊員の命と健康を守る立場からPCR検査の実施を求めました。



富岡 隆 議員

## ●高レベル放射性廃棄物最終処分場

高レベル放射性廃棄物の最終処分場の問題について、「北海道に高レベル放射性廃棄物の最終処分場を受け入れないことを、全道市

長会を通じて、国に強く発信すべき」と提案しました。

市民の安全安心を将来的にも担保する上で、「浦河町で制定している『核のごみを受け入れない条例』を制定すべき」との提案には、「市は活火山である樽前山がある」と同時に胆振東部地震の震源地に近く安全性が確保されていないことから設置を受け入れる判断をすることはできない。市独自の条例は考えていない」と答えました。

「核のごみ」を出さないためにも泊原発再稼働中止を求めるべきとの質問には、「新規の原発は認められないが、稼働していた原発は再稼働する必要がある」と答弁しました。

## ●第8期介護保険事業計画

地域包括支援センターの業務量の増大と要支援の認定が増えていく状況で、ケアプランを作成するケアマネージャーが不足している点を指摘しました。

その上で「市の職員を配置しケアマネージャーの人材育成支援に乗り出すべき」と提案しました。

## ●I-R



原 啓司 議員

苫小牧I-R推進協議会が主催した2016年の北米I-R視察に市職員が随行として参加した際「先方の都合による日程の変更で事業者から提供されたプライベートジェット機に同乗した」とされる問題で、「ほかに事業者の費用負担による飲食、観光案内等の接待はなかったのか」と質問しました。

その上で、I-R事業者からの接待が想定される他団体の視察に職員を一人で参加させることの市長の認識について質問しました。

また、「苫小牧市と参入を指すI-R事業者は利害関係にある」と指摘し、道内他都市にあるような職員倫理条例や職員倫理規定の制定を提案しました。

「感染症の世界的拡大があれば、インバウンドも期待できない。巨大な利権が絡むI-Rを巡り政界を巻き込んだ汚職の連鎖もある」と指摘し、I-Rに頼らないまちづくりに決断を迫りました。

# 無所属

議員 高秀 触沢

今回の一般質問にあたり新型コロナウイルスについてさまざま調べてまいりましたが、このウイルスに病原性があるのかないのか、いまだ検証されていません。私はこのことが非常に重要と考えております。また、政府やマスクの情報を鵜呑みにしてはいけないと感じております。これを踏まえ新型コロナウイルスに対する市の対応について質問しました。

市側は、基本的な感染予防対策を徹底していくことが重要であり、感染原因に対する防御策と免疫力を高める生活習慣の両輪で取り組んでいただけるよう周知に努めます、との答弁がありました。市民の皆さまにおかれましては、しっかりと状況を把握していただき、予防も大事ですが自己免疫力を高めることが一番重要ではないかと考えます。今後におきまして市民の皆さまが笑顔で「きげん様でいられるよう努めてまいります。」